

The★看護

2023年9月号

幡多けんみん病院 専門・認定看護師の会

担当；上田、加用、岡本

看護相談窓口のご案内

日本は世界一の長寿国となりました。高齢者に多いがん・脳卒中・認知症の症状と上手に付き合いながら治療・通院されている地域の方を支えるために専門看護師・認定看護師の看護相談窓口を開始しました。

がんは2人に1人になる病気です。昔は、がんは不治の病とされていましたが、がんの治療が進歩することで、がんと共に生きる期間が延長されています。外来ではがんという診断や再発を伝えられ、気持ちが落ち込んだ状態で自宅に帰る患者様や病院に長く入院できず、不安を抱えたまま退院され、外来通院している患者様もいらっしゃいます。がんの治療は複雑で難しいですが、抗がん剤治療や放射線治療も外来で行われています。家族ががんになった時、家族としてどのように支えていいのかわからないまま、患者様に付き添ってこられるご家族や、先生の説明や薬の名前が難しくてわからない事もあると思います。

がん看護外来は、患者様やご家族の悩みや不安について相談をお受けする外来です。

がん看護専門看護師 上田 三智代

認知症相談の窓口では、患者様とご家族が、住み慣れた地域で安心して生活できるよう、専門的な知識を持った看護師や医療相談員が、相談対応、支援をさせていただきます。

相談内容は、物忘れが気になる、検査や治療について知りたい、など何でもかまいません。

ご本人がなかなか受診に応じてくださらないなどの相談にも対応しています。この場合「認知症」という言葉は使わずに対応していますので、ご安心ください。当院には多くの診療科がありますので、外来受診の機会に相談していただくことも可能です。外来通院中の方はもちろん、初めての方、相談のみにも対応していますので、お気軽にご連絡ください。

必要に応じて地域包括支援センターとの共有、介護保険申請、区分変更の提案をしています。

*待ち時間に相談いただけるよう、また、長時間お待たせすることがないよう、相談日時の予約をお勧めしています。

認知症看護特定認定看護師 岡本 紀子



院内スタッフでも患者・家族の対応に困ったり、相談したい、教えてほしいことなどがあればいつでもお声かけください。

脳卒中は急性期の治療が終わった後もリハビリや療養のため転院や、自宅退院された場合でも後遺症などがある場合は、生活の工夫を行ったり、脳卒中が発生しないような生活習慣を身につけるなど新しい生活スタイルへ変化させる必要があります。また、脳卒中の症状は患者さんによって異なり、生活環境も違うため、患者さんやご家族が抱えている困りごとは多岐にわたります。そのため、脳卒中相談窓口では、社会福祉士やリハビリスタッフ、薬剤師、管理栄養士とチームを組んで、さまざまな困りごとに対応できるように取り組んでいきたいと思っています。患者さんやご家族が困っていることや不安に対して寄り添いながら、問題解決に向けて一緒に考えて、少しでも抱えていたモヤモヤなどが晴れる場となればと思っています。予約での相談はもちろんですが、診察の待ち時間やお時間のあるときに、相談窓口にお越し頂ければ対応できるようにしていきたいと思っています。

相談内容は、脳卒中再発予防に関する内容や、再発時の対処方法、後遺症、リハビリ、内服管理、障害者手帳、金銭面などです。

脳卒中リハビリテーション看護認定看護師 加用 樹里